

オーバルネクストETF情報

2013年6月10日号



TEL 03(5641)5777

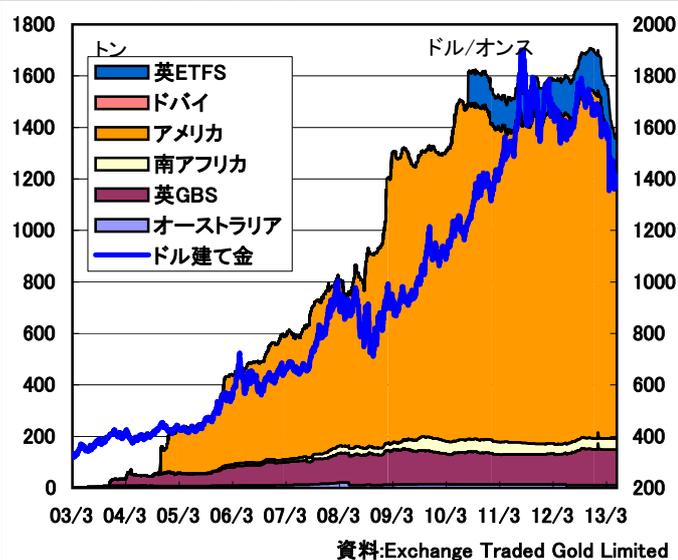
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

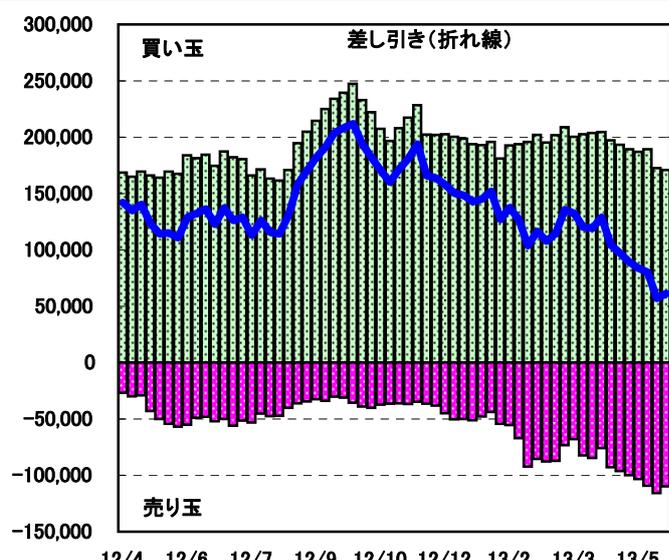
ETF残高は減少、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金は米雇用統計をきっかけに急落

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、6月4日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは6万1,200枚となり、前週の5万6,879枚から拡大した。今回は手じまい売りが1,594枚、買い戻しが5,915枚入り、買い越しを4,321枚拡大した。7日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比5.41トン減の1007.74トンとなった。米連邦準備理事会(FRB)の資産買い入れ縮小に対する警戒感が残るなか、投資資金の流出が続いている。

ドル建て現物相場は2011年9月5日、史上最高値1920.25ドルを付けた。その後は欧州の債務問題などを背景に株価が急落し、リスク回避の動きが上値を抑える要因になった。ただ米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で、超低金利政策の長期化見通しが示されたことや、量的緩和第3弾(QE3)決定などが下支え要因になった。2012年は1527.15～1795.65ドルで推移した。

前週は、米経済指標の悪化によるドル安などを受けて堅調となったが、5月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が予想以上となったことをきっかけに急落した。1,420ドル前後で上値を抑えられた。来週の米連邦公開市場委員会(FOMC)を控え、金融政策の見通しが引き続き焦点である。今週は10～11日に日銀金融政策決定会合があり、長期金利安定の措置が採られるかどうかを確認したい。

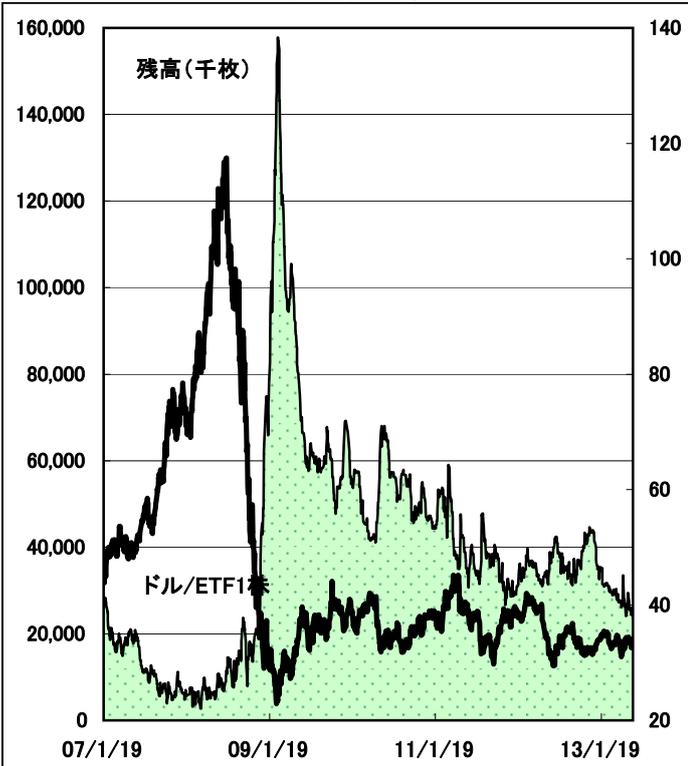
(オーバルネクスト 東海林勇行/6月10日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

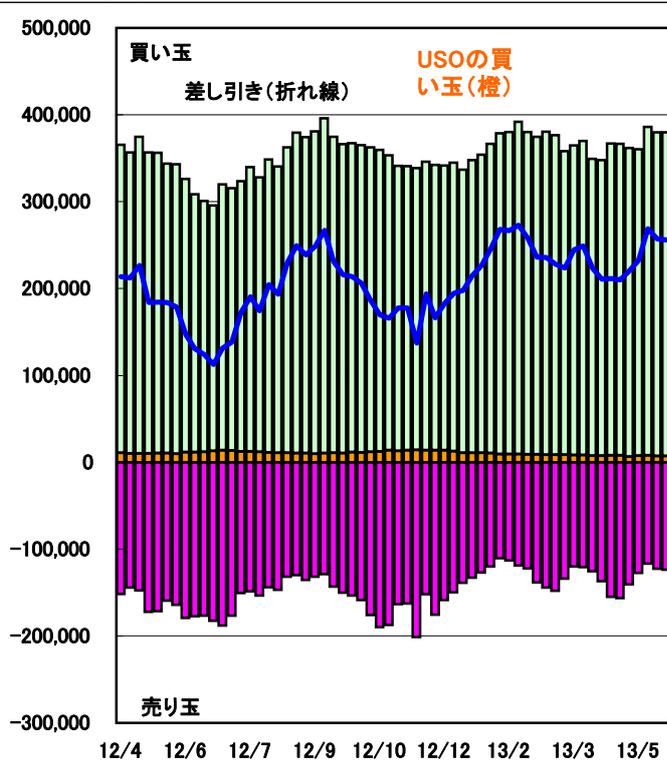
ETF残高は減少、先物買いは縮小

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は6月7日時点で2,310万株となり、前週末比280万株減少した。前週のニューヨーク原油は、株安などを受けて下落する場面も見られたが、在庫減少や米雇用統計発表後の株高などを受けて反発した。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は7日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で6,201枚(同1,001枚減)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で2,000枚(同変わらず)となった。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、6月4日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は37万9,736枚(前週37万9,881枚)、売り玉は12万3,902枚(同12万2,742枚)で25万5,834枚買い越しとなり、前週の25万7,139枚買い越しから、1,305枚買い越し幅を縮小した。USOの買い玉は大口投機家の1.9%(同1.9%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が9万4,150枚(同10万1,954枚)、売り玉は4万2,218枚(同4万1,382枚)で5万1,932枚買い越し(同6万0,572枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の2.1%(同2.0%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
13/6/3	33.16	4,926,791	25,300	6,989		2,000	7/13
13/6/4	33.20	3,633,607	25,800	7,167		2,000	7/13
13/6/5	33.26	4,373,812	26,200	7,307		2,000	7/13
13/6/6	33.62	5,936,157	24,400	6,668		2,000	7/13
13/6/7	34.16	6,812,710	23,100	4,654		1,500	7/13
				1,547		500	8/13

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

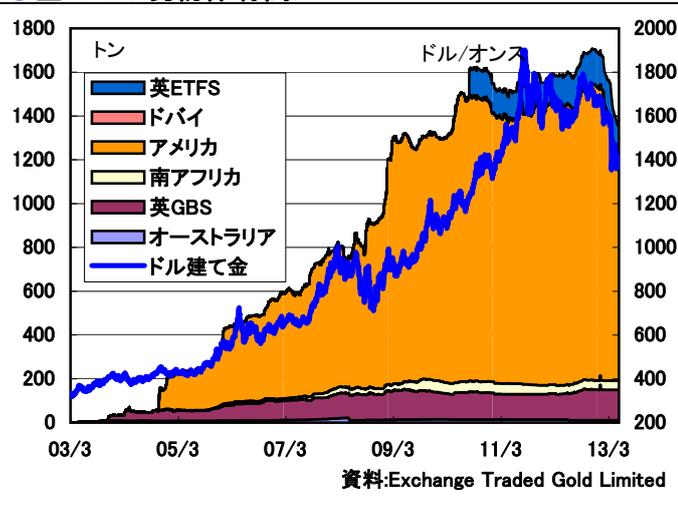
(オーバルネクスト 東海林勇行/6月10日記)

<免責事項>

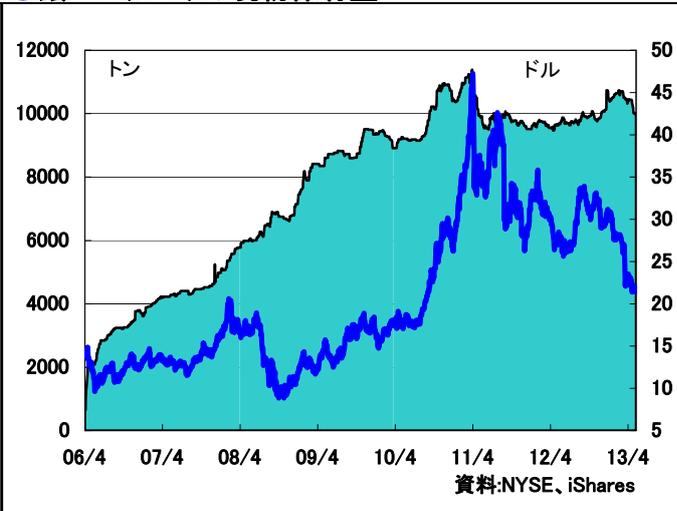
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETF残高は減少継続

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界12カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、6月5日時点で1354.85トンとなり、前週末比2.71トン減少した。ジョージ・カンザシティー地区連銀総裁は、米連邦準備理事会(FRB)の債券買い入れペースの縮小は金融政策の引き締めにあたらぬとの見方を示し、市場で警戒感が出ていることを受け、ニューヨークで減少した。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比4.50トン減の9988.42トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量は、ロンドン(コード:PHAG)が同0.36トン減の874.42トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同0.16トン減の568.77トンとなった。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
13/05/30	11.16	138.13	152.66	42.45	1013.15	0.00	1357.55	1,413.58
13/05/31	11.16	138.13	152.66	42.45	1013.15	0.00	1357.55	1,387.95
13/06/03	11.16	138.13	152.66	42.45	1013.15	0.00	1357.55	1,411.65
13/06/04	11.16	138.13	152.66	42.45	1010.45	0.00	1354.85	1,399.65
13/06/05	11.16	138.13	152.66	42.45	1010.45	0.00	1354.85	1,401.95

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(5日現物保有は186.88トン)、米ETFセキュリティーズ(5日32.96トン)など。

資料:Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
13/05/30	21.98	11,422,881	9,992.9
13/05/31	21.43	13,151,898	9,992.9
13/06/03	21.98	12,771,480	9,992.9
13/06/04	21.77	6,749,775	9,992.9
13/06/05	21.78	8,278,908	9,988.4

単位:価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料:NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 5日874.42トン、NY 5日568.77トン)。

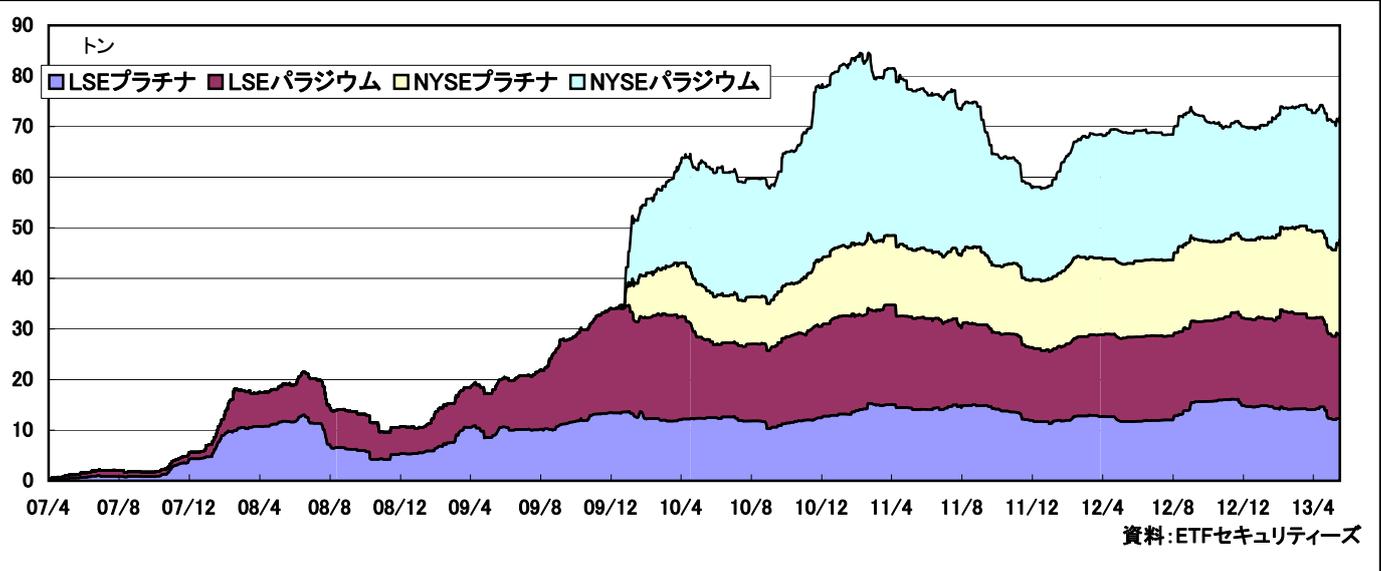
(オーバルネクスト 東海林勇行/6月6日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

NYのプラチナETF残高が増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は5日時点でプラチナが12.27トン、パラジウムが16.38トンとなり、前週末比でプラチナが0.01トン増加、パラジウムが0.53トン減少した。一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は5日時点でそれぞれ19.04トン、24.22トンとなり、前週末比でプラチナは1.21トン増加、パラジウムは0.32トン減少した。

南アの鉱山会社ロンミンで労組幹部が殺害されたことに加え、インパラ・プラチナム(インプラッツ)で違法スト(1日で終結)があった。アングロ・アメリカン・プラチナム(アンプラッツ)の雇用削減もあり、供給不安につながりやすく、プラチナの支援要因になった。一方、パラジウムは米国の出口戦略が意識されるなか、ポジション調整の売りが出たもよう。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
13/05/30	12.31	16.90	874.78	136.55	17.07	24.54
13/05/31	12.26	16.90	874.78	135.14	17.83	24.54
13/06/03	12.26	16.59	874.78	134.47	17.83	24.54
13/06/04	12.27	16.59	874.42	135.80	17.83	24.24
13/06/05	12.27	16.38	874.42	135.53	19.04	24.22

単位:トン

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/6月6日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。